

式 辞

嘉手納町長 當 山 宏



本日ここに、嘉手納町町制施行50周年記念式典を挙行政致しましたところ、公私ともにご多忙の中、ご来賓はじめ多くの皆様にご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本町は昭和51年1月1日に県下で7番目となる町制を施行し、これまで力強くその歩みを進めてまいりました。そして本年、町制施行50周年の記念すべき節目を迎えております。

基地あるが故の様々な制約や課題を抱えながらも、我が町の先人達はその英知と力を結集し、今日の嘉手納町を築き上げてまいりました。

村制から町制への移行を実現した古謝善初代町長は、長期的なまちづくりの視点に立って屋良土地区画整理事業に着手するとともに、各種の新たなまちづくりの取り組みを本格化致しました。

次の町政を担った吉浜朝永町長は、「安らぎと生き甲斐にみちたまち、嘉手納」を将来像に掲げて更なる都市基盤の整備を推進し、役場庁舎・町民会館等多くの公共施設の建設に尽力しました。なお、待望の嘉手納高等学校もその時代に開校しております。

また、宮城篤実前町長においては、「ひと、みらい輝く交流のまち かでな」を将来像に町の一大プロジェクトであった「新町・ロータリー地区再開発事業」等の各種事業を成功に導くとともに、沖縄防衛局の嘉手納町への移転を実現しております。

まちづくりは継続です。先人たちが築いてきた歴史を土台とし、時代のニーズを踏まえた新たな発想をもって更なる発展を目指していかねばなりません。この10余年は、そうした考え方の下で本町のまちづくりに邁進してきました。

懸案の密集市街地整備事業は、防災機能や住環境の向上を目指して事業の推進を図っているほか、町内への住宅建設を促進するため定住促進事業に力を入れております。教育施設についても建て替えが進み、児童生徒の良好な学習環境が整えられました。また、「道の駅かでな」は、大幅なリニューアルを経て東の玄関口の新たな顔となっており、中心商店街では、元気プロジェクト事業の取り組みにより空き店舗の解消が図られました。さらに、全面人工芝の嘉手納野球場もオープンし、本町スポーツツーリズムの核としてその役割を果たしております。

その他、子育て支援や教育、福祉等のさらなる充実を図り、多くの皆様が「住みたい、住み続けたい」と思えるまちの実現に取り組んでおります。

この度、町制施行50周年を迎えるにあたり、町勢の発展に多大なるご尽力を賜りました歴代町長や歴代議会議員の皆様、町民の皆様、企業、関係各位、そして国や県に対しまして、ここに衷心より感謝の意を表します。なお、本日の記念式典においては、45名の皆様と13団体のそのご功績を称え表彰致します。

結びに、今後とも次なる50年に向けて協働のまちづくりを推進し将来像である「ひと、みらい輝く交流のまち かでな」の実現を目指してまいります。

本日の町制施行50周年記念式典にご臨席賜りました皆様のご健勝とご活躍を心から祈念致しますとともに、本町の発展にお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年2月7日

あいさつ

嘉手納町議会議長 石 嶺 邦 雄



本日ここに、嘉手納町町制施行50周年記念式典を挙行政するにあたりまして、町内外から多くのご来賓並びに町民の皆様のご臨席を賜り、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。嘉手納町議会を代表して、ご挨拶申し上げます。

町制施行50周年という節目を迎え、本式典におきまして、長年にわたり町の発展にご尽力され、本日表彰をお受けになる皆様に心からお祝い申し上げます。皆様の多大なるご貢献と地域への深い愛情に対し、改めて敬意と感謝を表します。

顧みますれば、昭和51年1月1日に嘉手納町が誕生して以来、半世紀にわたり歴代の町長や議会議員、そして町民の皆様が町の発展のために不断の努力を重ねてこられました。特に、町域の大半が米軍基地に占められているという厳しい環境のもと、安全で平穏な暮らしを守り、町の振興に尽力してこられた皆様のご苦労は、並々ならぬものがあり、先人たちの熱意とご苦労に対し、改めて深甚なる敬意を表するとともに、今日の嘉手納町の礎を築いてくださったことに心から感謝申し上げます。

この50年の歩みの中で、近年は特に少子高齢化や人口減少、自然災害の脅威といったこれまでにない課題に直面しております。一方で、地域コミュニティや社会保障の在り方の見直しが求められるとともに、デジタル技術の急速な進展が私たちの生活様式や働き方に大きな変化をもたらしています。そして何より、安全で安心して暮らせることの重要性を改めて強く認識しております。

こうした社会情勢の変化に的確に対応するため、近年、町では、教育環境の整備、高齢者が安心して暮らせる福祉サービスの向上、公共施設のリニューアルなど、多岐にわたる施策を推進してまいりました。さらに、子育て支援の充実や、定住対策に係る各種事業にも力を入れております。これらはいずれも「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちの実現を目指す取り組みであります。

町議会といたしましても「次へつなげる」という思いを胸に、この50周年を新たな出発点と捉え、私たちの子どもや孫の世代が希望と誇りを持って暮らせる嘉手納町を築くため、議員一同、さらなる研鑽を重ね、開かれた議会運営に努め、嘉手納町をより魅力ある「まち」に発展させるべく、全力で取り組んでまいります。

結びに、本町の発展のためにご指導、ご協力を賜りました関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、ご臨席の来賓の皆様並びに町民の皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、祝辞といたします。

令和8年2月7日

嘉手納町について

プロフィール

〈町の面積〉 15.12 平方 km
面積の約 82% が嘉手納基地に接収
〈人 口〉 12,951 人
(男：6,269 人 女：6,682 人)
(令和7年12月末日現在)

町 章

「かでな」の頭文字を飛鳥のイメージに図案化し、町民の親和と団結を表すと共に町勢の向上発展を単純明快に象徴化したものです。
(昭和48年5月17日制定)



町 花

ハイビスカス

町 木

リュウキュウコクタン

嘉手納町 キャラクター

野国いももち
野国総管甘藷伝来 400 年祭
マスコットキャラクター



名所・旧跡

野国総管の墓 野国総管宮 比謝川
天川の池の碑 比謝橋 屋良ムルチ
屋良城跡公園 道の駅かでな
比謝川自然体験センター

祭り、行事

野国総管まつり 鯉のぼりフェスタ
ハーリー大会 嘉手納町エイサーまつり
ビアフェスタ 泡盛まつり
嘉手納町産業まつり

名産・特産

野国いも加工品 黒糖まん ちんすこう
ハンドメイドコスメ バーガー 自家焙煎珈琲
田芋饅頭 工芸品（漆喰シーサー等）
洋菓子（マフィン等）
沖縄料理（デビチの煮つけ等）
タコス、蜂蜜、発酵食品（ボーンブロス）

嘉手納町役場
〒904-0293
沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 588
TEL：098-956-1111



嘉手納町歌

（昭和58年2月1日制定）

1 朝のひかりも さわやかに

みどり輝く 屋良城址

心ふれ合う 町がある

笑顔のこぼれる 人がいる

そうさ われらの自慢の町さ

築こう築こう 我がふるさとの嘉手納町

2 水の流れの たゆみなく

恵みあふれる 比謝川よ

平和たたえる 町がある

幸せ育む 人がいる

そうさ われらの住み良い町さ

歌おう歌おう 我がふるさとの嘉手納町

3 教え尊し 総管の

功しのべば わく夢よ

文化ほほえむ 町がある

自然を愛する 人がいる

そうさ われらの理想の町さ

拓こう拓こう 我がふるさとの嘉手納町

作 詞 坂口 洋隆
作 曲 普久原恒勇
編 曲 屋富祖寛治

記念式典

令和8年2月7日(土) 午後2時30分
かでな文化センター

 嘉手納町